

ワークショップ「人工国際社会を作る」

マルチエージェント・シミュレーションという新技法をつかっての国際関係研究を試みている若手研究者が駒場キャンパスにあつまり、ワークショップを開催します。国際関係研究の最前線でどのような試みがおこなわれているのか、ぜひ見に来てください。

○日時 2010年12月18日(土) 13時00分～17時00分
○場所 東京大学駒場キャンパスファカルティハウス内セミナー室

○プログラム

13:00～13:15 主催者挨拶・趣旨説明／山影進(東京大学)

13:15～15:00 第一セッション

▽司会 秋山英三(筑波大学)

▽コメント 石田淳(東京大学)

▽報告

鈴木一敏(広島大学) 繰り返し囚人のジレンマにおける相対利得の経路依存的影響

保城広至(東京大学) 地域主義の創発：国内制度と地域経済協力のシミュレーション

湯川拓(東京大学) マルチエージェント・シミュレーションによる政策拡散の研究

15:00～15:15 休憩

15:15～17:00 第二セッション

▽司会 中井豊(芝浦工業大学)

▽コメント 山本吉宣(青山学院大学)

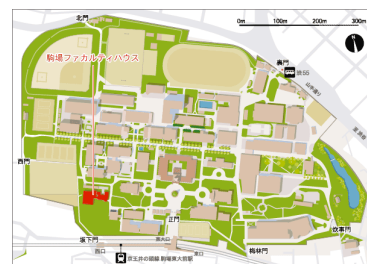
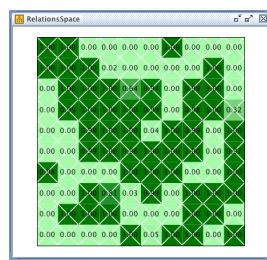
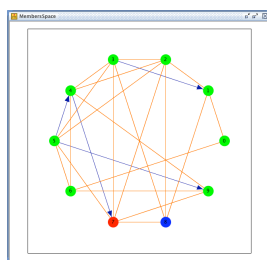
▽報告

伊藤岳(東京大学) リチャードソンパズル：戦争内戦テロリズムの隠れた法則性と国際秩序変動

阪本拓人(東京大学) 持続的平和のためのMAS：南部スーダン住民投票を前にして

光辻克馬(東京大学) 帝国システムの消長と主権国家システムの生成

17:00 閉会の辞／山影進(東京大学)



※詳細情報&報告内容(ペーパーおよびアブストラクト)は「マルチエージェントモデルによる国際政治秩序変動の研究」のサイト(http://citrus.c.u-tokyo.ac.jp/mas_ir/index.htm)に発表予定です。

主催 科研費研究「マルチエージェントモデルによる国際政治秩序変動の研究」

後援 東京大学大学院総合文化研究科「人間の安全保障」プログラム(HSP)

グローバル地域研究機構持続的平和研究センター

グローバル地域研究機構持続的開発研究センター

グローバル地域研究機構持続的アフリカ地域研究センター